

クリーンセンター 売電利益はやっぱり明らかに



表④ 国崎クリーンセンターの発電、売電について(議会・黒田質疑資料より)

	発電量(kwh)	売電量(kwh)	売電率(%)	売電収入(円)
2017(H29)	2217万	814万	36.75	5670万
2018(H30)	2309万	886万	38.37	7020万
2019(R元度)	2378万	942万	39.61	7055万
2020(R2)	2377万	960万	40.39	7150万
2021(R3)	2421万	986万	40.76	7150万
2022(R4) *	2261万	918万	40.61	1億6217万

※ 国崎クリーンセンターの管理・運営費は1市3町で分担。約70%は川西市が負担
 ※ H21~23年度は組合と関電、H24年度からJFEと第1期、H29年度から第2期
 定額契約の全ては、議会・傍聴者配布資料に掲載(ブログ・たんぽぽだより12月6日付)
 ※ *総額 組合収入へ(R3年度の1/4期分を含む額)

R4年度分だけの売電収入は、1億4842万5000円

猪名川上流広域ごみ処理施設・国崎クリーンセンターでの売電の件でも、私(黒田)は、「公の施設で住民のごみを燃やして排出される熱エネルギーによる電力を売って儲ける金額は住民に還元するべき。儲けは秘密という契約はおかしい、明らかにするべきだ」と追求を続け、やっと2022(R4)年度から「総額の契約」となりました。それまでは、「定額契約」でJFEの売電による利益はわかりませんでした。しかし、表④で明らかになりました。総額収入は定額収入の約2倍になっています。JFEには、委託料としての収入があるのですから、それ以上に儲けを上乗せする必要はありません。単純には言えませんが、R4年度決算におけるごみ処理手数料(住民の直接持ち込み分)収入は、2850万3700円ですから、これを無料にすることも十分可能な金額です。

川西市中学校給食センターへ見学・試食、懇談

12月15日、議員団で給食センターへ見学に出かけました。給食センターの建設から、建物内の構造や職員の動線、空気圧など徹底した感染防止対策、安全・安心・おいしい給食提供への機材、職員配置、作業について、15年先を見据えた食育への取り組みなどをコンパクトにまとめたDVDを視聴、見学をさせていただきました。(よくわかるDVDを市や給食センターのホームページで視聴できるように提案しています)

28品目のアレルギー対応について、カレーのルーを小麦ではなく上新粉とオリーブ油を使用するなど、除去食・代替食だけではない工夫を知ることができ、エリアごとに職員のエプロンの色を変えて徹底した感染防止対策の実際などを見学することができました。

自校方式ではない給食センターならではの給食の提供、食育センターとしてのさらなる発展への熱い思いを聴かせて頂いて嬉しく、頼もしく感じました。

懇談の後、給食の試食(わかさぎのレモン漬け、はくさいのおかか和え、奈良のっぺ、わかめご飯、牛乳)。こども達の将来を見通して、健康で豊かに成長してくれることを願って作られている献立。こどもの好きなものを好きなだけ提供するのではなく、教育の一環としての給食。食べてほしい食材、工夫された調理・味つけ、食文化の継承・・・生きることは食べること、生きることのエネルギーとして豊かな食の大切さを実感できました。元気を頂戴しました



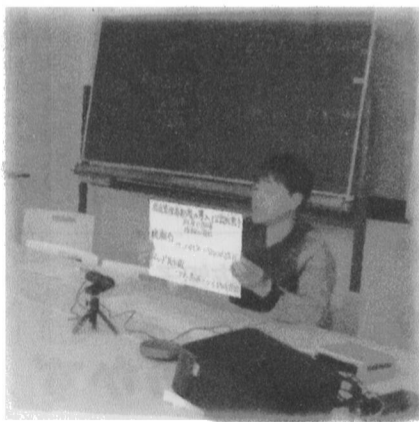
越田謙治郎市長と懇談
石田剛教育長と懇談



11月16日に、越田謙治郎市長、石田剛教育長宛に新年度予算要望書を提出していましたが、12月12日、それぞれ懇談をさせていただきました。

要望書への回答は、2月上旬。改めて懇談を持つ予定です。

私たち日本共産党議員団は、日本国憲法に則り、その具現化を図ることが市役所の責務だと考えています。誰ひとり取り残さない政治、誰もが住んでよかった・住み続けたいと実感できるまちづくりに、これからも全力で取り組みます



憲法が輝く兵庫県政をつくる会、川西の病院統廃合のことで発言(リモート参加)

♪大阪城ホール1万人の第九



兵庫県・保育後援会の皆さんと保育士配置基準の引き上げを求める宣伝 市の就学前保育・教育についての学習会(チューター)



あちらこちらで宣伝中

たんぽぽだよりは住民にとって、たんぽぽ頼りやで〜と嬉しいお声が

